

安全データシート

1 化学品(製品)及び会社情報

化学品(製品)の名称
製品の種類、推奨用途

供給者の会社名称
住所
担当部門
電話番号
FAX番号
緊急連絡先
使用上の制限

サラペン(HG)540 EP

種類 アクリル樹脂系エマルジョン塗料
用途 建築用

大橋化学工業株式会社
大阪府茨木市畑田町6番21号
品質保証部
0868-38-4131

0868-38-1788

同上

推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2 危険有害性の要約

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

GHS分類	区分	危険有害性情報
物理化学的危険性		
引火性液体	-	区分に該当しない
健康に対する有害性		
急性毒性		
経口	*	分類できない
経皮	*	分類できない
吸入/気体	-	区分に該当しない
吸入/蒸気	4	吸入すると有害(50.8%の未知成分あり)
吸入/粉塵及びミスト	*	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	*	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	*	分類できない
呼吸器感作性	*	分類できない
皮膚感作性	*	分類できない
生殖細胞変異原性	*	分類できない
発がん性	*	分類できない
生殖毒性	*	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	2	臓器の障害のおそれ [肝臓, 腎臓, 血液, 呼吸器, 中枢神経系]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	2	長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害のおそれ [肝臓, 血液, 呼吸器, 中枢神経系]
誤えん有害性	-	区分に該当しない
環境に対する有害性		
水生環境有害性 短期(急性)	*	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)	*	分類できない
オゾン層への有害性	*	分類できない

注意書き

安全対策

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

応急措置

- ・ 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。

保管

- ・ 施錠して保管すること。

廃棄

- ・ 内容物、容器は国、都道府県、又は市町村の規則に従い廃棄すること。

3 組成成分情報

化学物質・混合物の特定 : 混合物

成分名	CAS番号	含有率	備考
アクリル樹脂	-	24.0%	化審法 (6)-186
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	1328-53-6	2.0%	化審法 (5)-3315
酸化チタン(IV)	13463-67-7	0.9%	化審法 (1)-558 (5)-5225
その他顔料	-	19.7%	
水	7732-18-5	43.9%	
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	111-76-2	2.4%	化審法 (2)-407
ベンジルアルコール	100-51-6	1.2%	化審法 (3)-1011
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1.2%	化審法 (2)-422
エチレングリコール	107-21-1	1.1%	化審法 (2)-230
その他溶剤	-	1.5%	
助剤	-	2.1%	

4 応急措置

吸入した場合

- ・ 蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、温かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当てを受けること。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・ 大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 出来るだけ速く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・ 医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護

- ・ 適切な保護具(保護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。

5 火災時の措置

適切な消火剤

- ・ 水(棒状)、水(霧状)、強化液(棒状)、強化液(霧状)、泡、炭酸ガス、ハロゲン化物、粉末(りん酸塩類等を使用するもの)、粉末(炭酸水素塩類等を使用するもの)、粉末(その他)、乾燥砂

使ってはならない消火剤

- ・ 知見なし

消火作業用の特別な保護具と予防措置

- ・ 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

- ・ 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・ 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。
- ・ 屋内では換気をしっかり行う。
- ・ 屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。

環境に対する注意事項

- ・ 河川への排出等により、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

- ・ 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・ 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
- ・ スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7 取扱いおよび保管上の注意

取扱い上の注意

- ・ 換気の良い場所で取り扱う。
- ・ 容器はその都度密栓する。
- ・ 皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。

保管上の注意

- ・ 日光の直射を避ける。
- ・ 通風のよいところに保管する。
- ・ 盗難防止のために施錠保管すること。
- ・ 子供の手の届かないところに保管する。
- ・ 酸、アルカリと同じ場所に置かない。

8 ばく露防止および保護措置
許容濃度、管理濃度(職業的ばく露限界値、生物学的限界値)

成分名	管理濃度 (厚生労働省)	ACGIH TWA ppm	備考
アクリル樹脂	—	—	
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	—	—	
酸化チタン(IV)	—	10 mg/m ³	
その他顔料	—	—	
水	—	—	
エチレングリコールモノノルマル-ブチルエーテル	25 ppm	20 ppm	
ベンジルアルコール	—	—	
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	—	10 ppm	
エチレングリコール	—	—	
その他溶剤	—	—	
助剤	—	—	

設備対策

- ・ 屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用する等作業者が直接ばく露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。

呼吸器の保護具

- ・ その有害性物質に対して適切な保護の出来る保護マスクを着用する。

手の保護具

- ・ 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具

- ・ 取り扱いには保護メガネを着用すること。

皮膚および身体保護具

- ・ 取り扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

その他

- ・ 静電塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9 物理的および化学的性質

物理状態	: 液体
色	: グリーン系
臭い	: 僅かアクリル臭
融点	: 知見なし
凝固点	: 知見なし
初留点	: 100.0°C(参考値)
沸点	: 100.0~100.0°C(参考値)
可燃性	: なし
爆発限界下限	: 知見なし
爆発限界上限	: 知見なし
引火点	: 知見なし
自然発火点	: 知見なし
分解温度	: 知見なし
pH	: 知見なし
動粘性率	: 知見なし
溶解度	: 知見なし
n-オクタノール/水分配係数	: 知見なし
蒸気圧	: 知見なし
密度及び又は相対密度	: 知見なし
相対ガス密度	: 知見なし
粒子特性	: 知見なし

10 安定性および反応性

- 反応性
・特に情報を有していない。
化学的安定性
・通常条件では反応しない。
危険有害反応可能性
・特に情報を有していない。
避けるべき条件
・製品そのものの加熱は危険な反応を起こす。
混触危険物質
・特に情報を有していない。
危険有害な分解生成物
・塗膜等が燃焼した場合CO等。
その他の危険性情報
・特に情報を有していない。

11 有害性情報

急性毒性

区分		ATEmix		
経口	分類できない	LD50	6532.9	mg/kg
経皮	分類できない	LD50	4026.5	mg/kg
吸入/気体	区分に該当しない	LC50		ppmV
吸入/蒸気	区分4	LC50	9225	ppm
吸入/粉塵・ミスト	分類できない	LC50	80.7	mg/l

成分名	急性毒性					皮膚腐食性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
	経口	経皮	吸入/気体	吸入/蒸気	吸入/粉塵・ミスト	刺激性	
アクリル樹脂	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
酸化チタン(IV)	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
その他顔料	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
水	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	区分4	区分3	区分に該当しない	区分2	分類できない	区分2	区分2A
ベンジルアルコール	区分4	区分4	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分2
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分2A
エチレングリコール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分4	区分2	区分2B
その他溶剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
助剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

成分名	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	誤えん有害性	含有率
アクリル樹脂	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	24.0%
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	2.0%
酸化チタン(IV)	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	0.9%
その他顔料	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	19.7%
水	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	43.9%
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分2	分類できない	2.4%
ベンジルアルコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	1.2%
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	1.2%
エチレングリコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	1.1%
その他溶剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	1.5%
助剤	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	2.1%

成分名	特定標的臓器毒性	
	単回ばく露	反復ばく露
アクリル樹脂	分類できない	分類できない
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	分類できない	分類できない
酸化チタン(IV)	分類できない	区分1(呼吸器)
その他顔料	分類できない	分類できない
水	分類できない	分類できない
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	区分1(肝臓, 腎臓, 血液, 呼吸器) 区分3(麻酔作用)	区分1(血液)
ベンジルアルコール	区分1(腎臓, 中枢神経系) 区分3(麻酔作用)	区分1(中枢神経系)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分3(麻酔作用)	区分1(肝臓, 呼吸器)
エチレングリコール	区分1(腎臓, 血液, 中枢神経系) 区分3(気道刺激性, 麻酔作用)	分類できない
その他溶剤	分類できない	分類できない
助剤	分類できない	分類できない

12 環境影響情報

成分名	水生環境有害性		オゾン層への有害性
	短期(急性)	長期(慢性)	
アクリル樹脂	分類できない	分類できない	分類できない
塩素化フタロシアニングリーン(銅化合物)	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
酸化チタン(IV)	区分に該当しない	区分4	分類できない
その他顔料	分類できない	分類できない	分類できない
水	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
ベンジルアルコール	区分2	区分に該当しない	分類できない
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
エチレングリコール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
その他溶剤	分類できない	分類できない	分類できない
助剤	分類できない	分類できない	分類できない

一般注意事項

- ・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- ・特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

その他の情報

- 生態毒性
 - ・ 知見なし
- 残留性・分解性
 - ・ 知見なし
- 生体蓄積性
 - ・ 知見なし
- 土壤中の移動性
 - ・ 知見なし

13 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取り扱いに関する情報

- ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・ 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- ・ 排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。
- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

汚染容器包装の廃棄方法

- ・ 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・ 許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

14 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
国連輸送名 : 該当なし
国連分類 : 該当なし
容器等級 : 該当なし
指針番号 : 該当なし

特別の安全対策

共通

- ・ 取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと
- ・ 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送

- ・ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
- ・ 荷送り人は運送業者に運搬注意書(イエローカード)を交付する。

海上輸送

- ・ 船舶安全法、海洋汚染防止法に定めるところに従うこと。

航空輸送

- ・ 航空法の定めるところに従うこと。

15 適用法令

・ 労働安全衛生法

※改正前(2024年3月31日まで)

第57条の1 表示対象物質

【エチレングリコール、エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル、ジエチレングリコールモノブチルエーテル、銅及びその化合物、ベンジルアルコール】

第57条の2 通知対象物質

【エチレングリコール、エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル、酸化チタン(IV)、ジエチレングリコールモノブチルエーテル、銅及びその化合物、ベンジルアルコール】

※改正後(2024年4月1日以降)

第57条の1 表示対象物質

【エチレングリコール、エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル、ジエチレングリコールモノブチルエーテル、銅及びその化合物、ベンジルアルコール】

第57条の2 通知対象物質

【エチレングリコール、エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル、酸化チタン(IV)、ジエチレングリコールモノブチルエーテル、銅及びその化合物、ベンジルアルコール】

・ 化学物質審査規制法

優先評価化学物質

【エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル、エチレングリコール】

・ 化学物質管理促進法(PRTR法)

※改正前(2023年3月31日まで)

対象物質なし

※改正後(2023年4月1日以降)

第一種指定化学物質

エチレングリコールモノブチルエーテル(管理番号594):2.4%

ジエチレングリコールモノブチルエーテル(管理番号627):1.2%

16 その他情報

主な引用文献

- ・ 日本塗料工業会編集「塗料用データベース」
- ・ 溶剤ハンドブック
- ・ 化学商品(化学工業日報社)
- ・ 日本塗料工業会編GHS対応 SDS・ラベル作成ガイドブック(改訂第4版)
- ・ ACGIH: Threshold Limit Values for Chemical substances and Physical Agents
- ・ NITE(製品評価技術基盤機構)提供GHS分類結果DB

責任の限定について

- ・ 「安全データシート」の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 本製品を取り扱う場合には、記載内容を参考にして使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。
- ・ 本データシートは安全や品質の保証書ではありません。